

学生企画のボランティア活動は、住友商事・東日本再成ユース
チャレンジプログラムから助成を受けています。

ボラスステ新聞

2016年度
第 2 号

二〇一六年
六月九日
発行

日々の努力！今魅せるとき！

生涯学習センター発表会

二月二十七日に、第五回生涯学習センター発表会が名取市文化会館で行われました。生涯学習センターとは、尚絅学院大学が地元名取市の市民の方々を対象に、多くの講座を開設・運営しています。この度の発表会は、その生涯学習センターで行っているダンスや合唱、朗読などの、発表の場となっています。また、仮設住宅のダンスや合唱をなさる方々も参加されています。

私たちは、発表者の方々が普段の練習の成果を出せるよう、今回からサポート役としてお手伝いをさせていただきます。

私は、舞台袖でマイクや

椅子の出し入れをしました。舞台袖や舞台裏では、発表者の方々とお話をすることもできたので、とても良かったと思います。

今回の活動を通して、指示を待っているだけでなく、自らすすんで行動していきたいと思えます。

そして、発表会や普段のお茶会を通して、仮設住宅の方々と生涯学習センターの講座を受けている方々と一緒に踊ったり歌ったりできたらいいなと思えました。

(人間心理学科二年

杉山泉美)



私は、受付として仕事をしていたのですが、お客様が来るのを、ただ待っているだけの時間が多くなりました。しまったように感じました。そのため、発表者の方とお話しすることができなかつたので、次の活動では、もっと交流したいと強く思いました。

また、アイ☆シンとして

ステージで踊りを披露させていただいた時に、自分の努力不足をとんでも後悔しました。またこのような機会をいただけた時には、全力で取り組んでいきたいです。

今回の発表会が初めての

参加となりましたが、住民さんの結束力を感じられる、とても素晴らしい発表会でした。私は、そんな発表会を見て、もっとたくさんの方に見てもらいたいと思いました。

今回は、スタッフとしても出演者としても、自分を成長させてくれる活動になったと思えます。

(人間心理学科二年

黒田沙弥)

学生のダンスグループ
「アイ☆シン」のステージ発表



「クラウニーダンサーズ」の方々のフラダンス



「ねむの木」の朗読の方々

編集 後記

もう6月...。気温の高い日が増えてきましたが、山の上はまだ風が冷たいです...。そんな中！今号で春休みの活動記事は最後となります。

春休みを振り返ってみると、遊んだりごろごろしたり好き勝手に過ごしていましたが、特別号として出している「仙台未来防災フォーラム」に参加したことは、私にとって本当に大きな収穫を得ることができました。今後の活動や他のメンバーにも伝えていけたらいいなあ、と思います。

(人間心理学科2年 田中遥)